

大学生の就職活動の動向について

1. インターンシップの現状

2. 今後の就職活動について

株式会社マイナビ

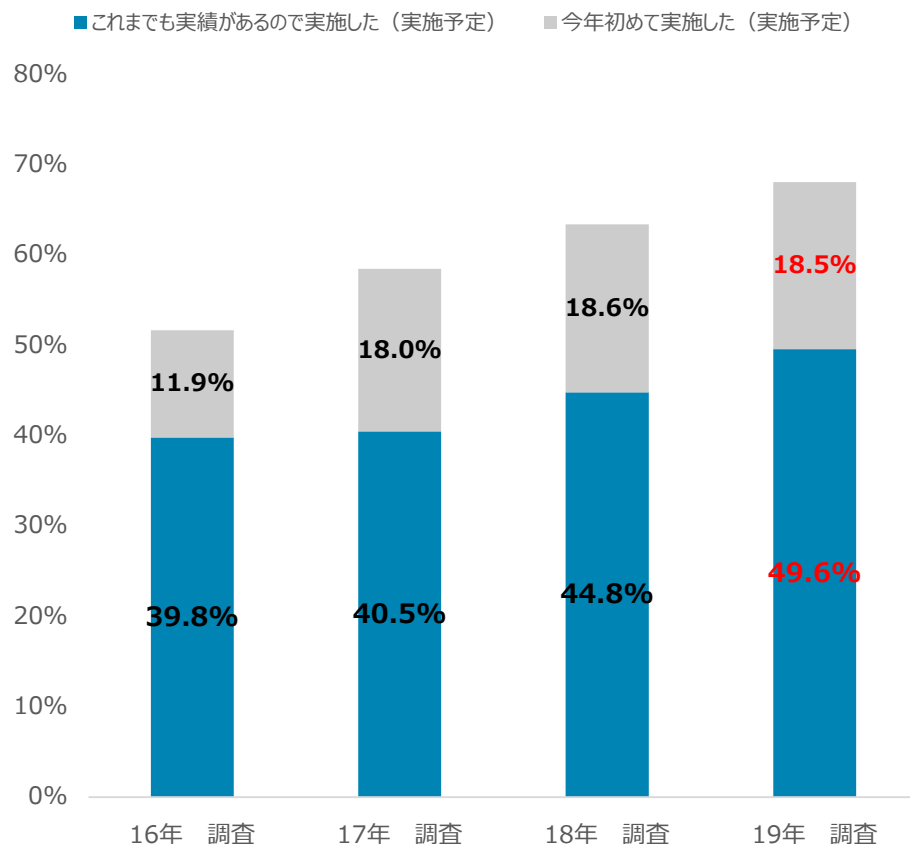
マイナビ副編集長 吉田 優太

01

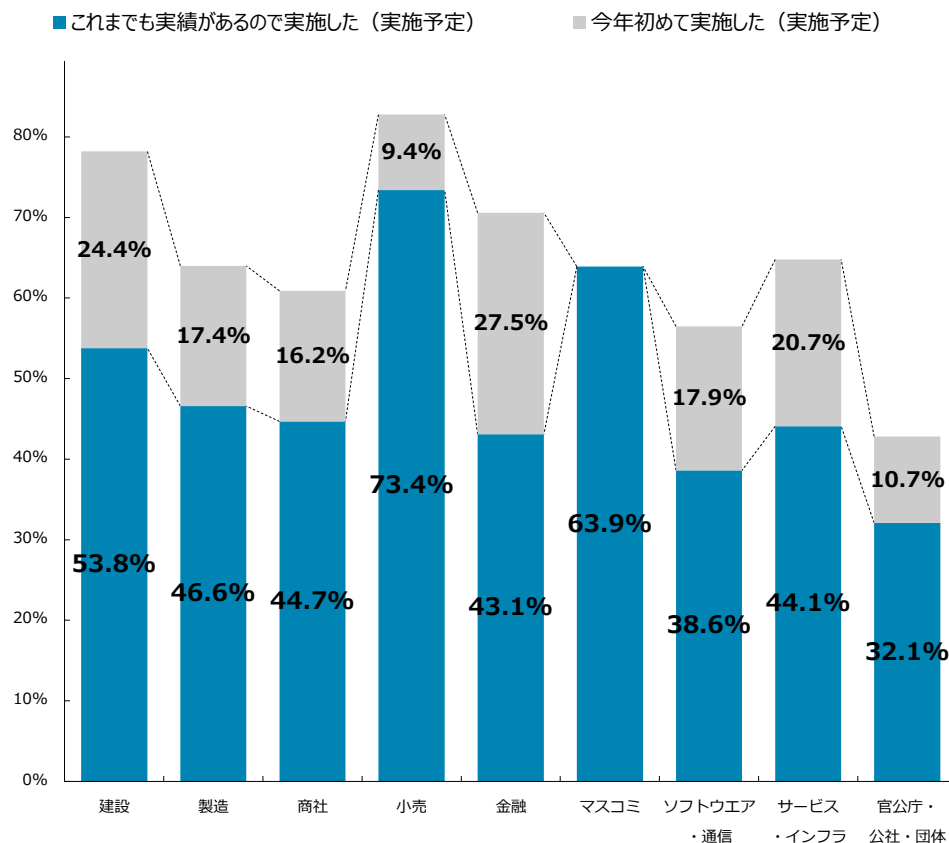
インターンシップの現状

インターンシップ開催比率は、**年々上昇傾向（19年調査68.1%,前年比4.7%）**。
特に建設・小売など、近年採用意欲の高い業界ほど導入している傾向。

■この夏もしくは秋以降にインターンシップを実施したか・今後実施するか



■業界大分類別実施状況



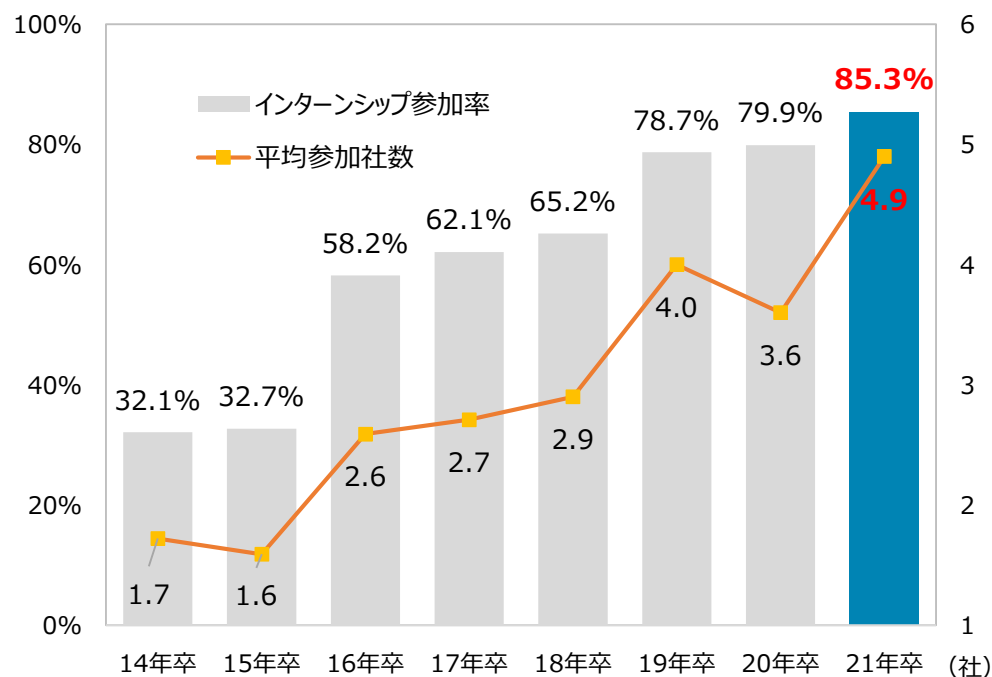
出所：2020年卒マイナビ企業新卒内定状況調査（2019年10月実施）

学生 昨年までのインターンシップ参加状況

85.3%の学生がインターンシップに参加。20卒に比べて6.4ptの大幅増。

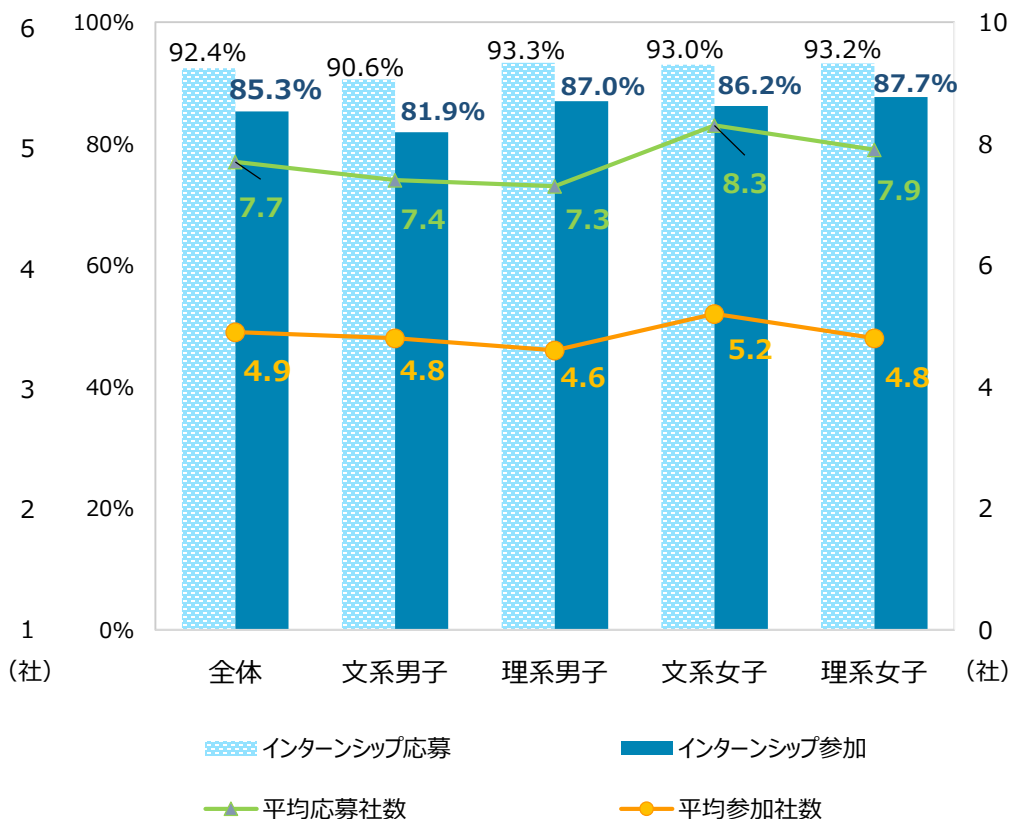
「応募した」人も含めると9割以上が、インターンシップ参加への意識を持っている。

■ インターンシップ参加率と平均参加社数



※ 14、15年卒は11月に調査を実施

■ インターンシップ応募割合・参加割合



出所：2021年卒 マイナビ大学生広報活動開始前の活動調査（2月1日～13日実施）

参考 インターンシップ・※ワンデー仕事体験の種類、特徴について

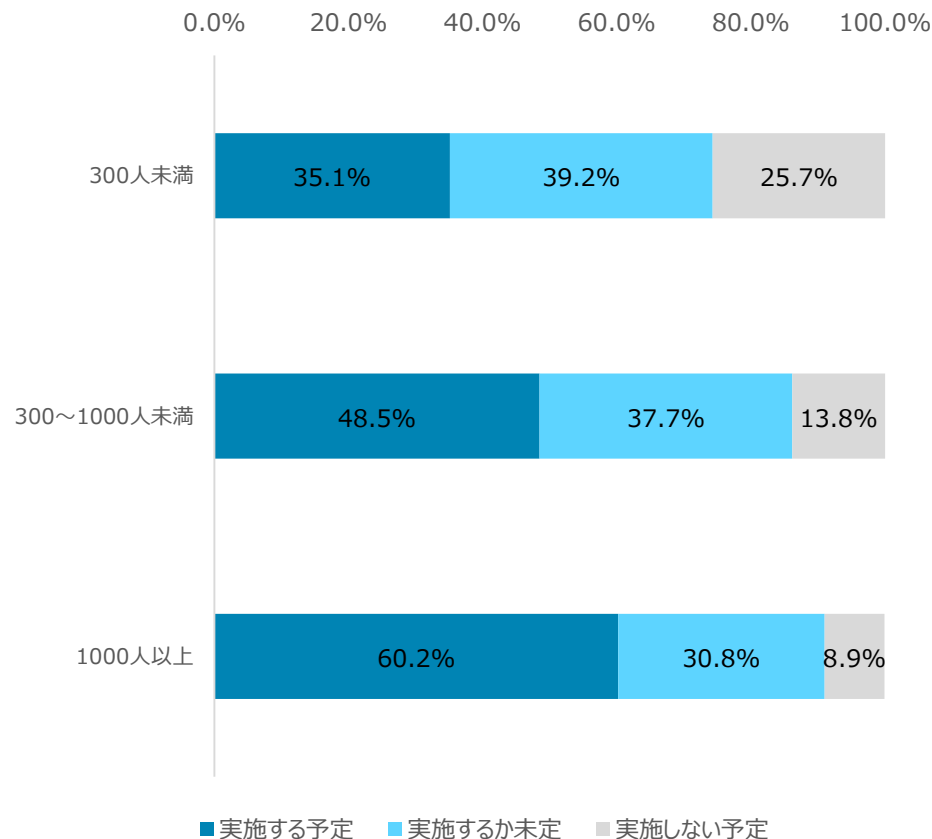
昨年まで1dayインターンシップと呼ばれていたものは、「就業体験を含まない」ものもあり、学生の混乱を避けるため呼称変更をし、弊社では今年（マイナビ2022）よりワンデー仕事体験として掲載をしております。

	2～3日	5日間以上	※ワンデー仕事体験
内容	レクチャーと就業体験をバランス良く実施するものが多い。	就業体験メインで、より深い業務理解が可能。中には1ヶ月以上のプログラムも。	職場・工場・店舗見学、業務理解ができるグループワークなど。
長所	プログラム内容が濃く、業界理解が進みやすい。チーム制だと仲間もできる。	実際の業務に関わることも多く具体的な働くイメージを持ちやすい。社員と接点も多く、直接話が聞けたり、人脈作りにも有効。	日数が短いため、様々なプログラムに複数参加しやすい。また、応募倍率も低め。
短所	実際に実業務まで体験できるプログラムはまだ少ない。	受け入れ人数が少なく、その分応募倍率が高い。	良くも悪くも広く浅い内容。見学、講義等が中心で実業務を体験しにくい。

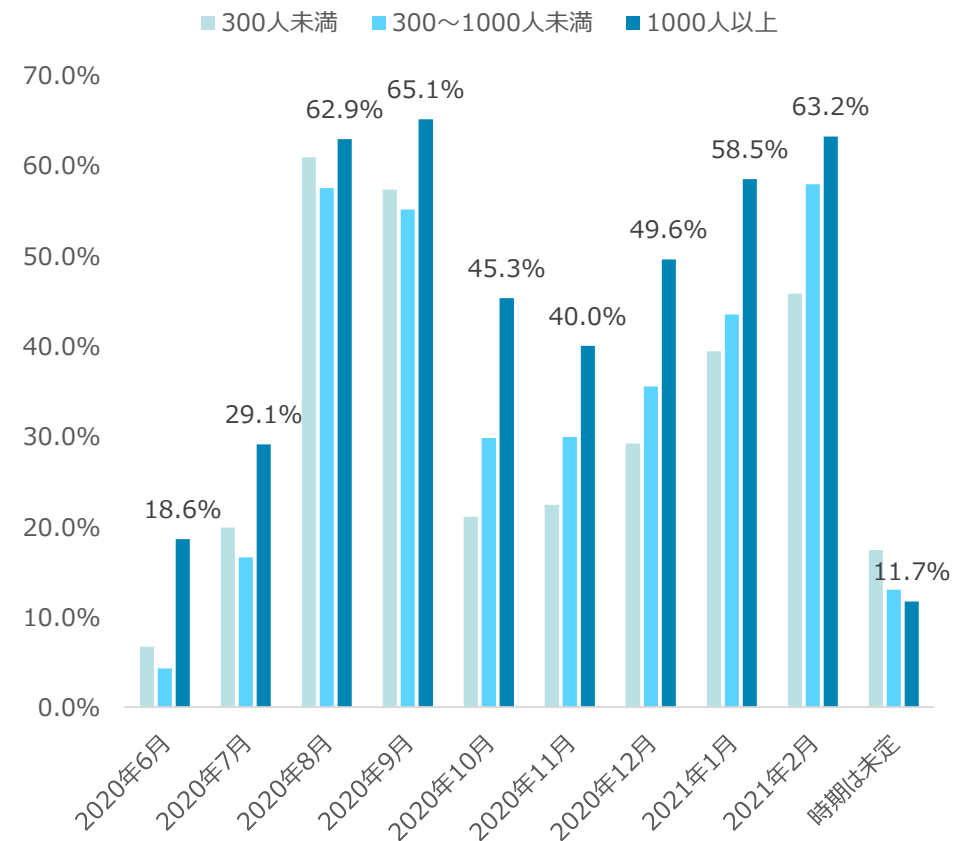
従業員規模が多いほど、実施する予定が高く、1000人以上は、60.2%。

実施予定時期は、例年と変わらず8・9月、1・2月が実施ピーク。

■ インターンシップ、ワンデー仕事体験の実施予定



■ インターンシップ、ワンデー仕事体験の実施予定時期

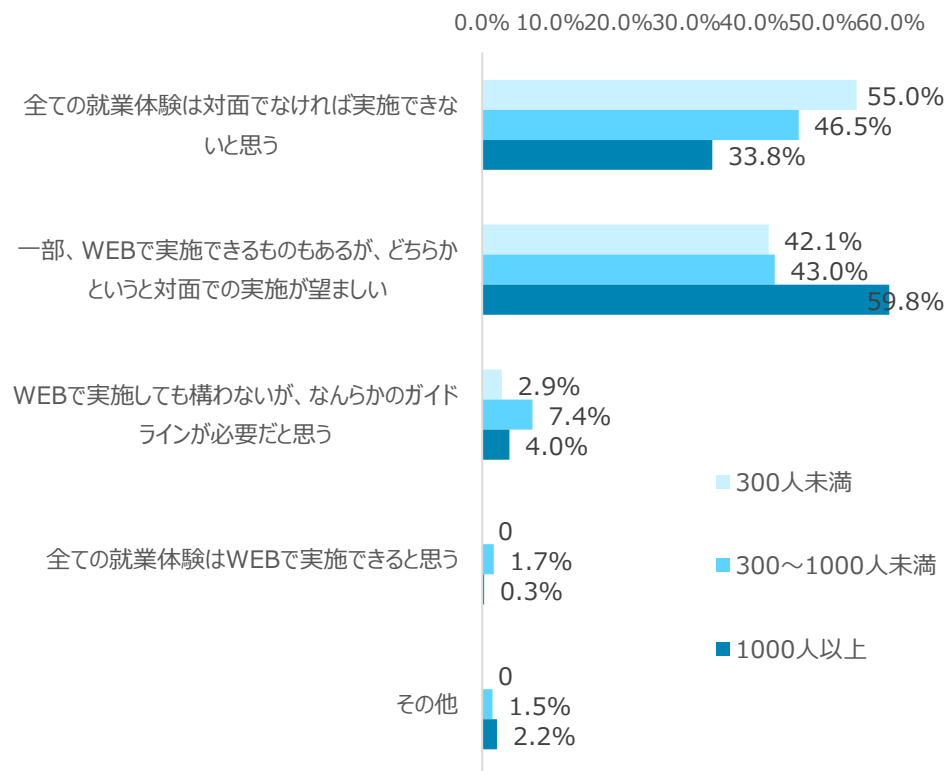


出所：2021年卒マイナビ企業新卒採用予定調査（5月21日～25日実施）

実施内容は、完全に「就業体験」をWEB化することが難しく、出来れば対面での実施をしたいという企業が多い。但し、形式としてはコロナの影響で大手ほどWEBで実施を検討している。

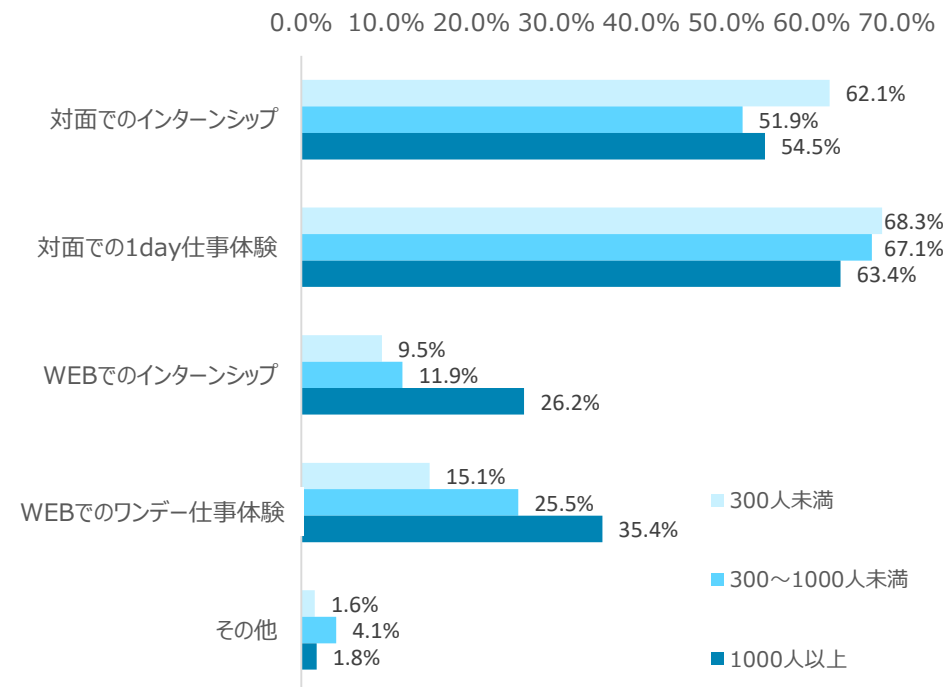
■ 貴社の事業における「就業体験」を想定して、一番近い考え

※WEBセミナーなど就業体験を含まないコンテンツは含まない。



■ どういう形式での実施を想定しているか

※仮にWEB上で実施するインターンシップ（就業体験）が可能になったという前提での回答

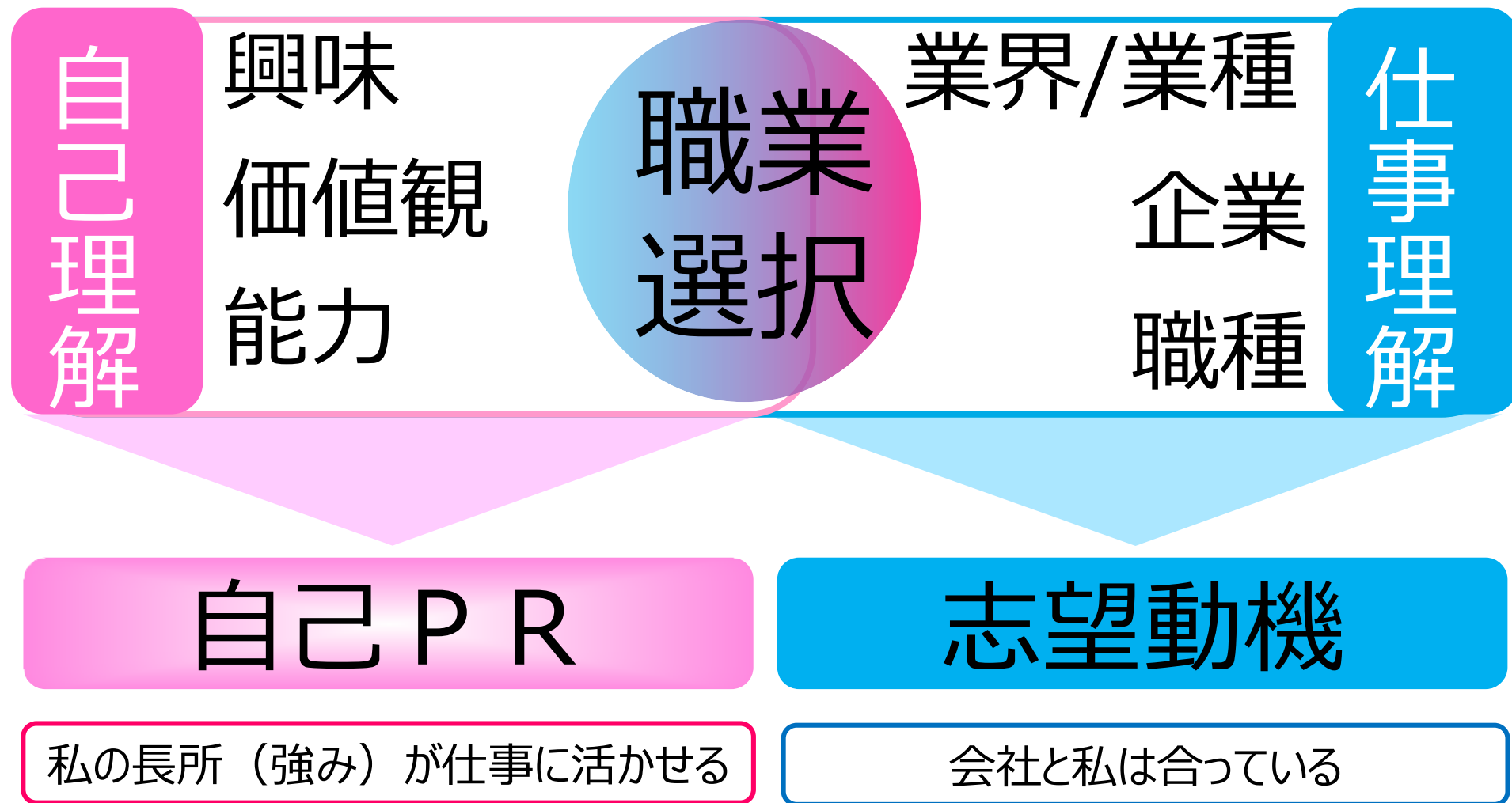


出所：2021年卒マイナビ企業新卒採用予定調査（5月21～25日実施）

02

今後の就職活動について

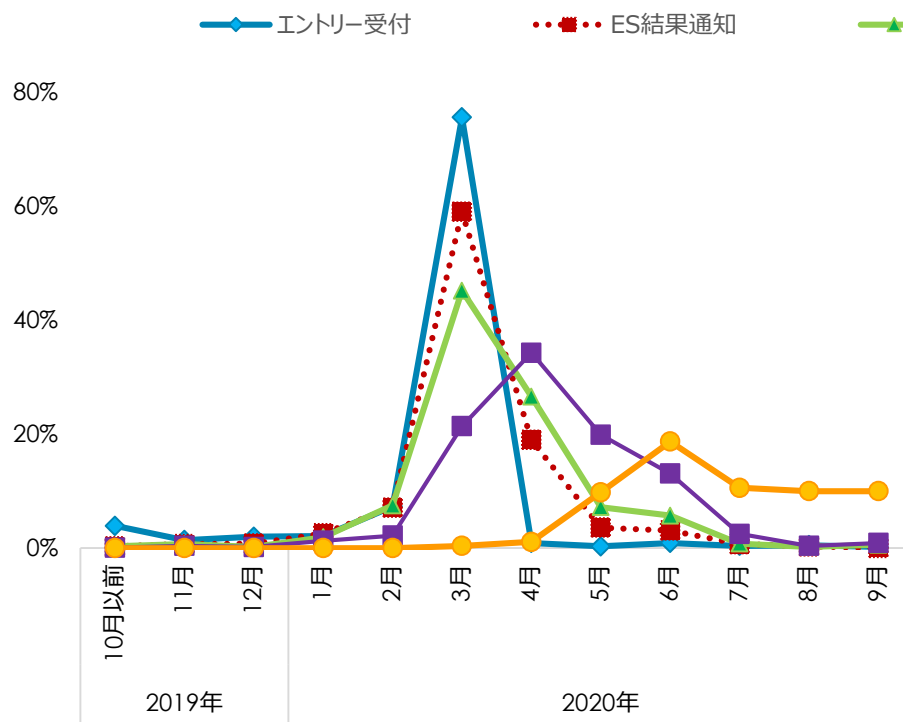
自己、仕事の理解には時間が掛かる。だからこそ、今から少しずつ自分の将来を見据え、準備がコツコツ出来る学生は、自分の納得のいく就職活動が出来ている傾向がある。



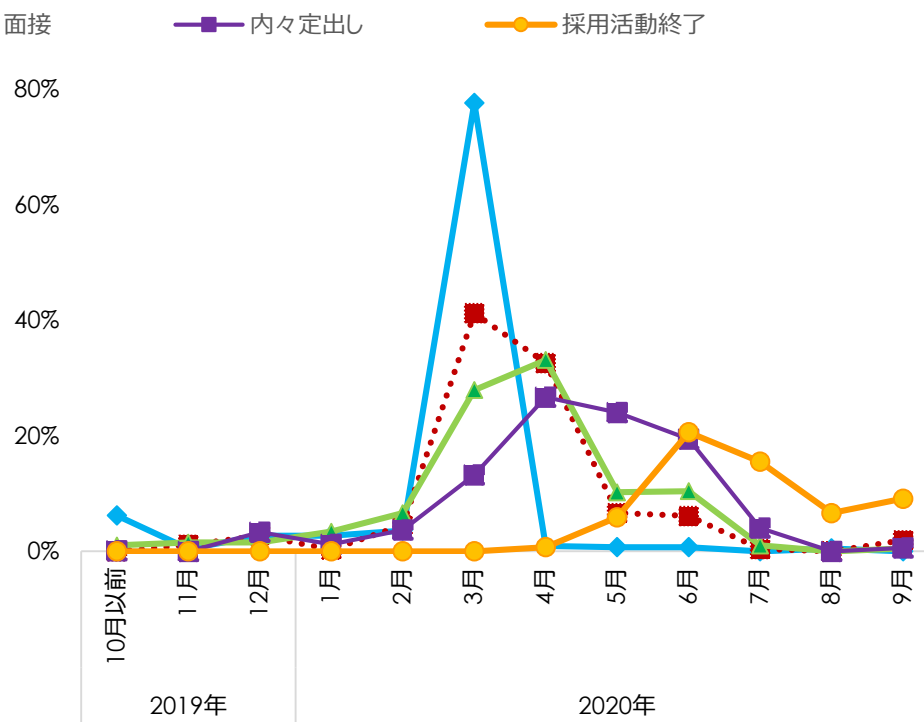
新型コロナの影響もあり、面接・内々定出しを1ヶ月後ろに伸ばす企業は増加していたが、来年は左のグラフの状態に戻る可能性が高い。

■ 2021年卒採用スケジュール（開始月）

【2020年2月に回答のあった企業】



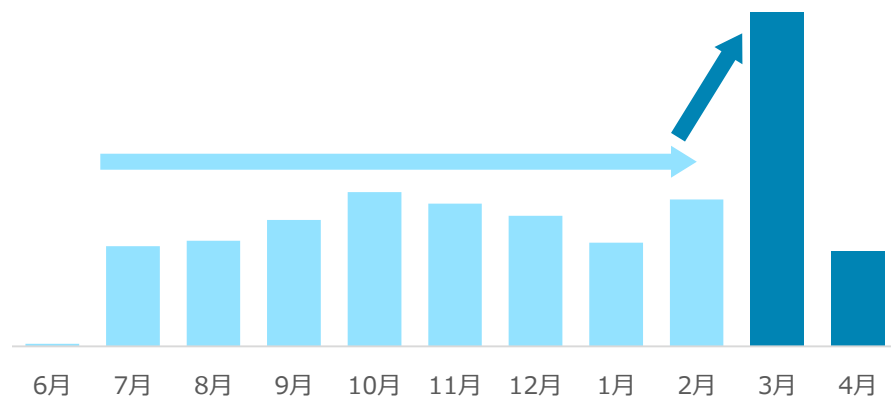
【2020年3月に回答のあった企業】



「エントリーシート受付開始時期と結果通知開始時期詳細」出所：2021年卒マイナビ企業新卒採用予定調査（2月13日～3月6日実施）

社会全体でオンライン化が進むことと合わせて、採用もオンラインが併用された新しい形式が定着していく可能性が高い。**オン、オフライン問わず自分らしさを伝えられるよう準備していくことが大切。**

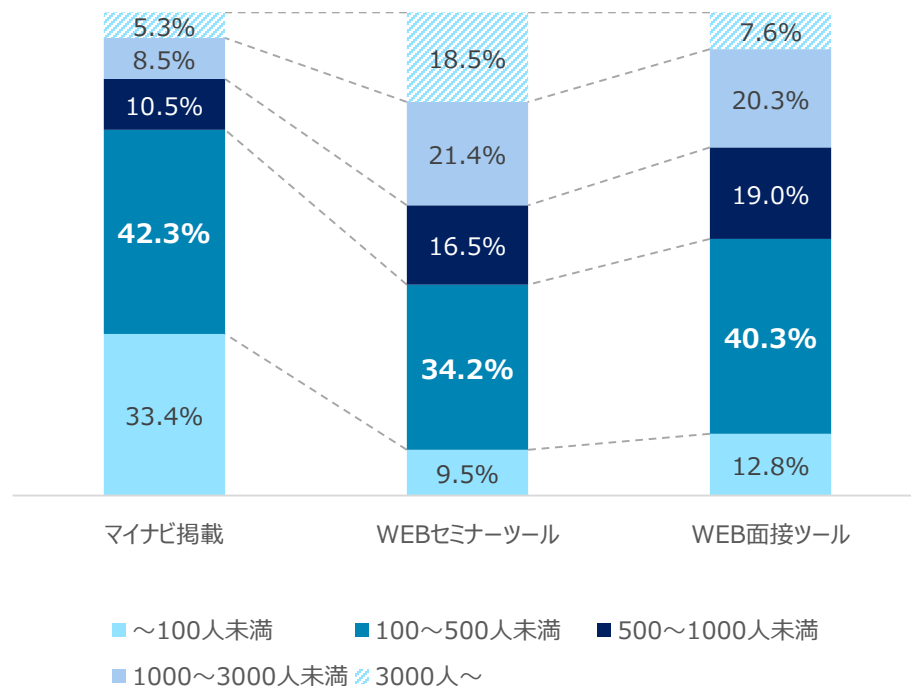
■WEBセミナーツール 導入推移



■WEB面接ツール 導入推移



■WEBセミナー/面接ツール 導入企業 従業員規模



「4/22時点までのWEBセミナーツール導入推移」 出所：マイナビデータ

21年卒の状況と22年卒の展望

2021年卒 まとめ	学生	<ul style="list-style-type: none"> ●【3月以前】早期から積極的に活動し、幅広く情報収集を行い、3月前までにある程度自分の興味・関心を絞り込み ●【3月以降】新型コロナウイルスの影響により、就職活動に対する不安が大きくなる。内定を持っている学生も一部いるが、まだまだ就職活動はこれからという状況。
	企業	<ul style="list-style-type: none"> ●採用活動のスケジュールは徐々に後ろ倒し。 ●大手企業を中心とした一部企業はWebセミナー・面接を活用し、当初のスケジュール通りで進行 ●Webセミナー・面接の活用企業が更に増えていく
2022年卒 予測	学生	<ul style="list-style-type: none"> ●就職活動と同様に今後のインターンシップ活動においても不安を抱える学生が多いと予想 ●オン、オフライン問わず情報収集できる学生とそうでない学生の差が拡大
	企業	<ul style="list-style-type: none"> ●大手企業を中心にOBOG訪問、インターンシップのオンライン化の検討が進んでいる ●徐々にインターンシップの中止が減少し、開催規模を変更し実施も増えてきている

▼緊急事態宣言後の22年卒インターンシップの変化

	インターンシップやOJOB訪問の オンライン化の検討が進んでいる	インターンシップの開催エリアが 変更になった	インターンシップの開催規模が 変更になった	インターンシップが中止になった	特に変化はない	回答社数
回答割合	13.6%	0.8%	8.5%	12.7%	66.9%	118

現段階では、社会生活や就職・採用活動への影響は先行き不透明な中で、学生が柔軟そして迅速に多面的な情報収集する姿勢が、納得した就職活動をするポイントに。

営業部ヒアリング内容より（2020年4月20日～4月24日ヒアリングを実施 約150社の情報を元に集計）